

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年12月30日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		法廷基準に合わせたスペースを確保しています。 また、コロナ予防のため十分な距離を保ち活動ができるように机の配置等を工夫しています。	引き続き感染症対策を継続していきながら、ソーシャルディスタンスが十分に保てる環境で活動してまいります。
	2	○		基準よりも多くの職員を配置し、情緒面、学習面等、多方面から考え、個々に適した療育が出来る環境を維持しています。	今後も法令の基準を遵守したうえで利用児童数に合わせて職員を適切に配置できるように努めてまいります。
	3	○		児童の特性に応じた環境作りを心掛け、分かりやすい生活導線や、玄関の段差も低くして上がりやすいよう工夫しています。	今後も、利用する児童の活動や支援に支障がないよう適切な環境を整備してまいります。
	4	○		療育前には必ず手洗い・消毒を励行し、室内の換気も常に実施しており、支援終了後には、机・椅子・教材・ドアノブなど全てを消毒して衛生的な環境を保っています。	今後も心地よい空間と、清潔な環境を保ち、尚一層感染症対策にも努めてまいります。
業務改善	5	○		定期的な職員会議を開催し、常勤・非常勤を問わず全員が参加し、日々課題や改善点について話し合うように努めています。	職員の勤務時間や勤務に合わせて日時などを調節し、話し合いの場を創出していきます。 また、職員全員が会議内容を把握できるように会議録を作成し、情報共有してまいります。
	6	○		今回初めてのアンケートを実施し、いただいたご意見を全職員で共有、検討し、業務改善に努めてまいります。	保護者様からのご意見、一つ一つについて改善や変更できるか職員間で話し合い、さらにより良い事業所にしていきたいと思っております。
	7	○		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も結果は公式 Web サイトで公開してまいります。
	8	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題として検討してまいります。
	9	○		法人で作成した研修用オンライン動画などを用いて研修を実施し、資質の向上に努めています。	今後も事業所内研修を継続し、研鑽に努め、職員一人ひとりの専門性を高めて行くと共に、コロナ収束後は積極的に外部研修へ参加してまいります。
適切な支援の提供	10	○		社内で統一されたアセスメントシートを用いて一人ひとりにあつた計画を立案しています。	今後も半年ごとにアセスメントを実施し、モニタリングと共にその都度、支援計画を見直してまいります。
	11	○		使用する書式を統一し、年齢、特性に合わせたアセスメントツールを使用し、適応行動の状況を把握しています。	今後も前回の計画からの変化をアセスメントを行う中で把握してながら児童の成長に合わせてまいります。 その都度反映できるように職員で情報共有に努めてまいります。
	12	○		保護者様と児童のニーズを汲み取りガイドラインから必要な項目を選択し、児童に適した具体的な支援計画を作成しています。	今後も計画の見直しの際には、児童の現状と保護者様とニーズを十分に把握したうえで、最適な支援を提案して具体的な支援内容ができるように努めてまいります。
	13	○		児童発達支援計画に沿った支援が図られ、職員間で共通認識を図り、支援に当たっております。	今後も児童発達支援計画に沿った支援が行われるよう努めてまいります。
	14	○		活動内容は個別支援計画をもとに職員がチームとなって協議しながら立案しております。	今後も全職員で考え立案し、アイデアを生かした内容をチームで組み立ててまいります。
	15	○		職員全員で意見を交換し、固定化しないよう工夫しています。	年間計画を立案し、季節ごとのプログラム、その年の時事なども取り入れるよう工夫して、利用児童にあった活動を心掛けてまいります。
	16	○		個別活動だけでなく、集団療育もおこない、児童の発達状況や保護者様のニーズに合わせた支援計画を作成しております。	今後も引き続き、個々の状況に合わせて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を立案してまいります。
	17	○		支援開始前には当日の支援内容、役割分担の確認をおこない、また前回の様子や気づきを職員間で共有し支援に繋げています。	今後もその日の支援内容について、保育士や教員経験者等の意見を踏まえて話し合い、支援の内容・担当を決めてまいります。
	18	○		その日の気づきや変わったことがあれば共有し、職員間で話し合いや振り返りをおこなっています。	今後も確実に情報共有できるように、支援終了後に気づきや成長を職員間で話し合います。 また、立ち会えない職員には記録を残し全員に周知できるようにしてまいります。
	19	○		利用の都度必ず記録を残し、気づいた内容を共有、確認できるようにしています。	今後も日々の療育内容を分かりやすく記録に残し、支援の検証や改善がなされるよう努めます。
20	○		最低でも6か月以内に1度は、必ずモニタリングを実施し、計画の見直しに努めています。	今後も定期的にモニタリングをおこない、計画の見直しの是非を判断してまいります。	
関係機関や保護者との連携	21	○		担当者会議には、児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者が参加しています。	担当者会議に参加する職員は、支援に携わっている職員からの意見や、情報をもとに、関係機関に情報提供ができるよう努めてまいります。
	22	○		保育園、幼稚園ともに密な連携を図り、必要に応じて児童の様子や日々の支援について情報を共有し、連携した支援に努めています。	今後も関係機関との関わりを大切にして連携した支援ができるように努めてまいります。
	23	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	○		必要に応じて、幼稚園、保育園への電話連絡や訪問を行い、情報共有に努め、よりよい支援に繋がるように配慮しています。	今後も関係機関と連携し、支援内容などの情報共有と相互理解を図ってまいります。
	26	○		幼稚園・保育所での状況も把握し、関係機関との連携を図り、進学先へ情報共有し、相互理解に努めていきます。	今後も関係機関と連携して支援内容などの情報共有と相互理解を図ってまいります。
	27	○		専門機関との情報交換や共有を図っていますが、今年度はコロナ禍のため研修機会はありませんでした。	コロナ収束後にはさらに連携を図り、研修が再開された場合は積極的に参加し、資質の向上に努めてまいります。
	28	○		現時点では交流の機会を企画できていません。	コロナ収束後には、保護者様のご意向を伺いながら、交流機会を検討してまいります。
	29	○		コロナ禍のため研修等への参加機会はありませんでした。	コロナ収束後には連携を図り、研修や講義などには積極的に参加し、またオンライン等参加できるものを確認し、職員の資質向上に繋げてまいります。
	30	○		送迎時や家庭連携等で児童の様子や状況を保護者様に伝え、保護者様に伝え共通理解に努めています。	今後も、送迎時や電話等連絡しやすい環境を整え、情報交換・共有に努めてまいります。
保護者への説明責任等	31	○		保護者様からの子育てのお悩みや、ご相談内容によって電話や面談等をおこない、その状況に応じて丁寧に対応しております。	今後も同様に保護者様からのお悩みを一緒に解決し、ご家族に寄り添える支援ができるよう努めてまいります。
	32	○		児童発達支援管理責任者が対応し、丁寧な説明を行っています。	契約時のみならず契約内容の変更時にも改めて説明してまいります。
	33	○		ガイドラインに基づいた支援計画を作成してまいります。 初回利用日までに支援計画の内容を説明し、保護者様の同意を得て署名捺印を頂き、控えをお渡しした後に利用を開始しています。	今後も同様に、ご意見や児童の状況に応じ、支援計画を作成し、丁寧な説明を心掛けてまいります。
	34	○		保護者様からの相談内容に応じて、様々なキャリアの職員が児童に何が必要か保護者様と一緒に考え、解決を目指しています。	解決へ向けた助言や回答をすぐに導き出すことが難しい場合には事業所へ持ち帰り、職員会議で話し合っ最善の対応に努めています。
	35	○		今年度は、コロナ禍のため父母の会を開催する機会を持つことができませんでした。	現在感染症予防の観点から開催は企画できておりませんが、収束後には個人情報に留意し、保護者様同士で意見や情報を交換できる場を設けられたらと考えています。
	36	○		苦情への対応について苦情窓口のご案内時等において、解決のめあてを協議し、随時実施出来るように役割分担をしています。	今後もご意見にはできるだけ迅速に対応し、早期解決に向け、事業所間でも共有し、今後の学びとしています。
	37	○		COMPASS だよりを季刊発行し、公式 Web サイトのブログは隔月で活動や児童の成長をご紹介しており Youtube や SNS を発信しています。	ブログでの活動内容の報告や、定期的なコンパスだよりの発行の継続と内容の充実を図ります。 また、事業所での行事の様子についても保護者様が見て楽しめるようなものを発信していきたいと考えています。
	38	○		個人情報は鍵付きの書庫で保管し、守秘義務については職員に周知徹底を図っております。 写真掲載等、個人情報に関わる場合には都度保護者様へ確認文章を配布し、同意を得ています。	今後も、個人情報の管理については、最大限に注意を払い全職員が意識し、安心してサービスをご利用いただけるよう徹底します。 またブログ等掲載の機会がある場合はその都度お知らせし、写真掲載の同意を確認してまいります。
	39	○		個々の特性を考え、理解できるように伝え方に配慮し、保護者様へは専門用語は使わず分かりやすい言葉でお伝えできるよう努めてまいります。	今後も保護者様の状況や状況に応じた適切な伝達方法の選択をしていきます。
	40	○		感染症予防の観点から行事には至りませんでした。	コロナ収束後には保護者様のご意向をお聞きしたうえで、地域住民の意向の行事も検討したいと考えています。
非常時等の対応	41	○		各種マニュアルを策定し、玄関に掲示しており、防災活動や訓練、様々な災害を想定して実施しています。	今後もマニュアルの周知と訓練を重ね全職員が落ち着いて行動できるように再確認してまいります。
	42	○		年度初めに年間計画を立て、定期的に様々な災害を想定した訓練を実施しています。	今後も定期的な訓練を実施し、内容を保護者様へお知らせしてまいります。
	43	○		アセスメントの際等に児童発達支援管理責任者が責任をもって保護者様へ十分に確認しております。 またてんかん発作等、エビソンの使用等の対応についても事業所内で全職員に周知し研修をしております。	今後もしっかりと保護者様と情報共有を図り、安心してご利用いただけるよう、全職員の共通理解を深め、対処の為の情報更新してまいります。
	44	○		アレルギーについては初回アセスメントの際に保護者様から聞き取り、全職員への周知・情報共有を徹底しています。	今後も職員へこの周知を徹底し、食物の提供をおこなう際には、細心の注意を実施してまいります。 また情報は定期的に更新、確認していきます。
	45	○		ヒヤリハット報告書は、その都度、記録し全職員に共有して再発防止に努めています。	引き続き職員、ヒヤリハット事例を意欲できるような仕組みづくりに取り組み、児童が安全に過ごせるよう努めてまいります。
	46	○		感染症予防の為外部への研修は参加できていませんが、虐待防止研修を年間計画に盛り込み、研修資料を元に虐待防止に関する勉強会を実施しています。	今後も事業所内での研修を継続してまいります。 また収束後には外部研修へも参加し、保護者様へ安心して通所できる環境設定、職員育成に努めてまいります。
	47	○		利用契約書にあるように生命または身体を保護するためには、やむを得ず身体拘束を行う場合は文書により同意を得るようにしております。	今後も保護者様へやむを得ない状況に限り行われることをたうて個別支援計画にも記載してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。